




## 医動物・種類同定検査結果(平成30年4月～6月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かるため、効果的な対策を立てることにつながります。

平成30年4月から6月の種類同定検査件数は、昆虫類4件(コウチュウ目1件、ハエ目2件、ハチ目1件)、でした。

主な検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
寝室の羽毛布団の上に多数の虫がみられた。		カツオブシムシ属の幼虫 (コウチュウ目)	一般に乾燥した動物質を食し、穀類などの植物質も加害する。毛織物や絹製品、魚類の干物や穀物などの害虫として知られる種が多い。
給食室ホールの出窓に多数の羽虫がみられる。		クロバネキノコバエ科 の一種 (ハエ目)	成虫の生息場所は主に屋外、森林内に多い。屋内でみられる成虫は活発な活動はせず、窓際や植物に静止していることが多い。幼虫は腐植物質から発生するが、発生源が不明なことが多い。屋外から飛来する場合と屋内の植木鉢の肥料などから発生する場合がある。
小学校の砂場にハチが多数みられる。		ヤマトスナハキバチ (ハチ目)	成虫は夏季に砂地に営巣し、幼虫の餌としてヨコバイ類やキジラミ類を狩る。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】